



SG1 副議長（新任）

株式会社NTTドコモ
おおつき めみこ
大槻 芽美子

〈プロフィール〉

専門領域：通信規制・政策関連

- 2007年 オーストラリア国立大学クロフォード経済政治研究大学院修了
- 2008年 株式会社NTTドコモ再入社、ITU-T SG3に参画
- 2012年 DOCOMO USA, Inc. ワシントンDCオフィスマネージャー
米国代表団メンバーとしてWCIT-12に参加
- 2016年 WTSA-16にてドラフティング議長（決議84）を務める
ITU-T SG3課題12アソシエイトラポータ就任
- 2018年 総務省国際政策課へ出向、理事会・理事会作業部会等に参画
APT WTDC-22 WG議長を務める
- 2021年 ITU GSR-21にてセッションモデレータを務める
- 2021年 株式会社NTTドコモに復帰、ITU-T SG3課題12ラポータ就任
- 2022年 ITU-D SG1副議長、課題4副ラポータ就任（現在に至る）
PP-22にてアドホックグループ議長（決議208他）を務める

—— 先のWTDC-22での選出そしてご就任おめでとうございます。今回、副議長に任命されたことについて率直なお気持ちをお聞かせください。

大槻 ありがとうございます。とても存在感の大きかった川角様の後任ということでプレッシャーを感じておりますが、いよいよマネジメントチームの一員として仕事ができることにわくわくしています。

—— ご担当事項（ご専門領域）とご経歴、ITU（SG）との関わり（年数など）、その他の標準化機関での活動など

を教えてください。

大槻 ITUの活動は2008年から開始し、これまでT、Dセクターや理事会など様々な会合に参加してきましたが、専門は一貫して通信をとりまく規制・政策関連事項です。ITU-T SG3ではモバイル金融サービスに関する政策事項、ITU-D SG1では電気通信/ICTの経済的側面に関する研究を主に担当しています。

—— 今研究会期におけるご担当の研究委員会の最重要テーマ・課題はどのようなこととお考えでしょうか。

大槻 ITU-D SG1の任務である「コネクティビティを実現するための環境整備」は、世界中の人々をつなぐというITUの目標と密接に関連しています。特に途上国が最適な通信規制・政策を導入できるようにするためのツールを作成し、提供することが重要だと考えています。

—— 副議長としての抱負をお聞かせください。どのようところに重点を置いて活動されるご予定でしょうか。

大槻 ITU-Dではそれぞれの副議長に役割が割り当てられており、私はITU-DのSG2や他のセクターとのリエゾンを担当しています。ITU-Tでの経験も生かし、他のSGやセクターとの連携にも貢献していきたいと思います。

—— 副議長としての難しさや障壁はどのようなものが想定されるでしょうか。また、そうしたことへの対処方法はどうかお考えでしょうか。

大槻 ITUは“Contribution Driven”なので、寄書などメンバーからのインプットが少ないと作業が進みません。コミュニケーションを密にし、多くのメンバーに積極的に参加してもらえよう働きかけていこうと考えています。

—— ポストコロナのSGの活動はようになっていくと思われますか。また、どのようにしたいとお考えでしょうか。

大槻 物理参加とリモート参加のハイブリッド会合が定着してきたので、これまで物理参加が難しかった途上国など

からも多くのメンバーに参加いただき、議論をさらに活発化させていきたいです。

—— 我が国、各加盟国の政府関係やICT産業界からの理解や協力についての期待をお聞かせください。

大槻 ITU-Dは政府機関だけでなく、民間企業の経験やアカデミアによる研究の成果なども共有できるプラットフォームとなっていますので、今後も様々なステークホルダーの参画を推進していただければと思います。

—— 最後に、個人の信条や、プライベートな時間でのご趣味などをお聞かせください。

大槻 健康第一で良いパフォーマンスができるよう心掛け

ています。普段から身体を動かしたり、好きなものを食べたりしてストレスを溜めないようにすることで、会合中などに休みなしで徹夜の仕事になっても元気に乗り越えられるようにしています。

—— 読者へのメッセージをお願いいたします。

大槻 このような記事がきっかけで、ITU-Dの活動に興味を持っていただけたら嬉しいです。

【読者のための豆知識】

SG1（第1研究委員会）の活動内容：有意義なコネクティビティのための環境整備



■ 第1回会合の様子



■ SG1マネジメントチーム

出典：<https://www.flickr.com/photos/itupictures/albums>